

第12回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」を開催



全国大会で挨拶する石井会長



祝辞を述べる石垣副知事

第12回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」（（公社）全国産業廃棄物連合会、（公財）日本産業廃棄物処理振興センター、（公財）産業廃棄物処理事業振興財団3団体の主催）は、平成25年11月8日に伊勢神宮の式年遷宮で沸く三重県志摩市の伊勢志摩ロイヤルホテルで開催されました。全国各地から行政・産廃事業関係の方々624名が参加され、三重県からも協会会員及び県職員合わせて100名近くの方々に参加して頂きました。また来賓として、三重県副知事石垣英一氏や三重県議会議長山本勝氏を始め多くの三重県議会議員の方々も参加して頂きました。

環境大臣表彰では平成25年度環境型社会形成推進功労者16名が受賞されました。

基調講演



基調講演する柏木孝夫氏

「低炭素・省エネ社会に向けた産業廃棄物処理」をテーマに東京工業大学総合研究院ソリューション研究機構特命教授柏木孝夫氏に基調講演をして頂きました。

以下講演内容

- ・日本の成長戦略は電力の安定供給が重要だが原子力発電所が停止し火力発電に依存しているので燃料輸入費が膨大となっている。
- ・バイオマス系エネルギー拠点である清掃工場や廃棄物処理場で循環型静脈インフラの整備が出来れば、低炭素社会は実現する。
- ・消費地で発電を行う分散型は災害に強く安全性が高いので経済波及効果も大きい。

志摩特產品物販



志摩市商工課と志摩市商工会が、地元特産物販売を計画し、グランドホールにて10店舗が真珠製品、牡蠣、水産乾物類などを販売しました。午後3時から販売を始め9時に終了しましたが、休憩時間や交流会の合間に多くの参加者に買い求めて頂きました。

全国大会でパネル討論会と交流会 テーマ「低炭素・省エネ社会に向けた産廃処理」



全国大会でのパネル討論会

「優良産業廃棄物処理業者認定制度の普及のために」をテーマに、早稲田大学学院商学研究科教授長沢伸也氏がコーディネーターを務め、パネリストとして環境省大臣官房産業廃棄物課長塚本直也氏、三重県環境生活部廃棄物・リサイクル課長和田一人氏、井村屋株式会社代表取締役社長前山健氏、一般社団法人三重県産業廃棄物協会副会長井上吉一氏の四名が参加しました。

長沢氏の優良認定制度が余り普及していないのではないかとの指摘に対し、塚本氏や和田氏が行政の立場からその必要性やメリットについて語り、前山氏は排出事業者として安心して処理を任せられる業者を安易に選択できるよう希望し、井上氏からは処理業者の実態や現場の状況から優良認定制度の必要性の理解とともに改善点を指摘するなど、熱く議論が展開されました。

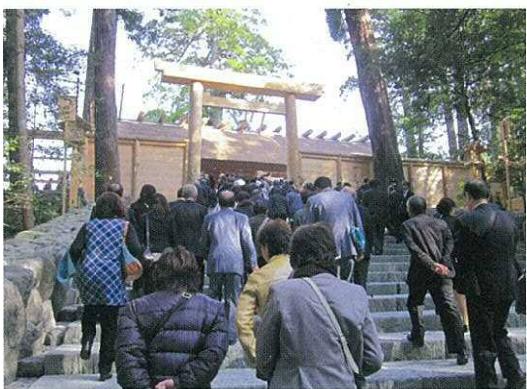


交流会で木村会長の乾杯・大口志摩市長挨拶

なごやかに交流会

大会後の交流会は鈴木英敬知事のビデオレター上映、志摩市長の挨拶、三重県協会の木村亮一会長の乾杯の音頭で開始、伊勢うどんや、てこね寿司など伊勢地方の郷土料理等を含めた食事も出され、盛大に開催されました。

伊勢神宮の式年遷宮に正式参拝



式年遷宮が行われた伊勢神宮の正式参拝のツアーを10月8日から9日に、当協会賛助会員の（株）JTB四日市支店に企画していただき、全国大会参加者のうち200人余りが、ツアーに参加されました。

お神楽と垣内参拝は始めての方も多く貴重な体験だと喜ばれました。当協会役員と青年部も案内を手伝わせて頂きました。

e-Lady21のつどい



産業廃棄物処理業に携わる女性の交流を目的に昨年から開かれている「女性交流会」が今大会でもパネル討論会終了後から交流会開始前の間に、関東地域協議会女性部会主催で開催されました。

当協会からは（株）稻本商店の取締役稻本智子様が参加し、来賓として出席した木村会長も挨拶、茶話会などで交流を深めました。